

重要取組シート

取組項目		英語教育の推進
現状・課題		<p>○英語教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化への対応に必要な、外国語によるコミュニケーション能力の向上が課題 ・新学習指導要領において、外国語教育の早期化、高度化を図るとともに、小中高一貫して授業の質的改善を図り、児童生徒が自分の考えなどを表現する力、即興的にやり取りする力を育成することが求められている。 <p>【内容】</p> <p>小学校3、4年生から外国語活動を導入、「聞く・話す」活動を通して英語に慣れ親しみ、5、6年生では文字を「読む・書く」を加え教科として学習を行う。中学校では、授業は英語で行い、授業そのものをコミュニケーションの場とする。求められる資質・能力の育成をめざし、授業改善を行うとともに、児童生徒が英語を使う機会が増えるよう環境整備を進める必要がある。</p> <p>○教員の英語力・指導力向上への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での教科化に伴い、指導と評価について教員の育成が必要 ・中学校では英語で授業を進めることのできる英語力・指導力向上が必要 <p>○中学生・高校生の英語力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国目標「中学校卒業時にCEFR A1以上の生徒 5割以上」 全国値42.6% 本市40.6% (平成30年度英語教育実施状況調査)
取組みの内容		<p>○教員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとに課題を把握し、その改善に向け教員研修を実施 <p>○ネイティブ・スピーカーの配置(拡充)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は1学期よりネイティブ・スピーカーを配置し、英語に触れる、使う機会の充実を図る。 ・高校には年間を通じてALTを配置 <p>○非常勤講師の配置(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度化された小学校英語教育に対応するため、加配教員等が配置されていない学校に英語教育の専門性をもつ非常勤講師を配置 <p>○教員採用選考における「小中一貫教育(英語)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭普通免許及び中学校教諭英語の普通免許をもつ教員を募集し、校種間連携を推進する。 <p>○オンライン英会話のモデル実施(新規)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイティブ・スピーカーの配置に加え、学んだ英語を使う場面を確保することを目的にオンライン英会話を小中4校にてモデル実施
スケジュール	前期 (~7月)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> NSの配置開始 <input type="checkbox"/> 非常勤講師配置 <input type="checkbox"/> オンライン英会話環境設定 <input type="checkbox"/> オンライン英会話授業開始(1学期末より順次実施) <input type="checkbox"/> 英語力・指導力教員研修(通年)

中期 (～11月)	
後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> NS、オンライン英会話 次年度事業者募集(11月～1月) <input type="checkbox"/> オンライン英会話 効果検証(2月) <input type="checkbox"/> NS 配置終了(3月)
次年度 以降	<input type="checkbox"/> NSの配置による外国語、外国語活動の充実 <input type="checkbox"/> オンライン英会話の拡充